

二〇〇六（平成一八）年度の大分県地方史研究会の大会・総会は七月九日（日）午前一〇時から大分県立図書館第二・三研修室で開催された。午前中は会員による研究発表、午後には総会と公開講演会で、午後四時に閉会した。参加者は約四〇名。

大会の概要は以下の通りである。

一、会員研究発表

長田弘通氏（大分市歴史資料館）

「西塞多神社文書について―大友松野文書のゆくえ―」

内田鉄平氏（専修大学）

「近世社会の変容と紙漉」

安田晃子氏（大分県立先哲史料館）

「海軍中将堀悌吉とロンドン海軍条約」

今回の三氏の発表は、いずれも大分県の歴史研究にとって最新のものであり、意欲的で充実した内容であった。

二、総会

豊田寛三会長のあいさつに引き続き、第二一回大分県地方

史研究奨励賞の発表、表彰式が行われた。今回は一九四号に「元龜年間における大友氏の政治的・軍事的動向―元龜三年伊予出兵の検討を中心として―」を発表された松原勝也氏が受賞。同氏は、近年意欲的に大友氏関係の論文を発表されており、これまであまり着目されてこなかった伊予と大友氏の関係について、広範な史料収集と精緻な史料分析を通して、新しい提言をされた注目すべき若手の研究者である。

引き続き以下の一―六号までの議案が審議された。

一、二〇〇五（平成一七）年度事業・会計報告とその承認

二、委員の改選及び委員会体制について

三、二〇〇六（平成一八）年度事業計画案について

四、二〇〇六（平成一八）年度会計予算案について

五、大分県地方史研究奨励賞について

六、その他

一号議案については、事務局側から提案があり、全会一致で承認された。ついで加藤泰信・若杉昌昭監事から、会運営は適正に行われている旨の監査報告があった。なお、二〇〇五（平成一七）年度の研究会活動は次の通り。

古代中世史研究会

八月二七日 高 陽一氏「豊後国大野荘志賀村南方における下地中分の実態について」

一〇月 八日 長田弘通氏「大友松野文書の行方2 ー西

寒多神社文書の調査ー」

一月二八日 大塚俊司氏「大友氏の加冠・偏諱授与と家

臣団」

近世史研究会

五月二八日 平井義人氏「臼杵藩における絵図の製作と

利用・管理に関する若干の考察」

八月二七日 甲斐素純氏「森藩久留島氏の参勤交代につ

いて」

一二月三日 平川 毅氏「展示解説…おおいた蘭学事始ー

文明開化への道ー」

二月 四日 川村博忠氏「江戸幕府の地図事業ー国絵図

と日本総図の編集ー」

近現代史研究会

六月二一日 樋田並滋氏「宇佐・国東 世界遺産登録運

動」

九月一〇日 吉田豊治氏「近代工業教育につくした人物」

一二月一〇日 柴田秀吉氏「シベリア出兵ー大分聯隊田中

支隊全滅の真相ー」

三月一一日 内田友樹氏「濟々巒と大江義塾」

大津留聡氏「庄内神楽の研究」

二号議案については、事務局から、会運営に尽力された真野和夫氏の退任と、菅野剛宏・高陽一両氏の新任、また新たに常任委員会体制を組織する旨が報告され、了承された。結果二〇〇六年度の委員会体制は次のように決定した。

会 長 豊田寛三

委員長 飯沼賢司

総 務 小泊立矢・段上達雄・安田晃子・佐藤晃洋・

三重野誠(全員常任委員)

編 集 武富雅宣(常任委員)・渋谷忠章・田中裕介・

白峰旬・針谷武志・櫻井成昭・菅野剛宏

研 修 平井義人(常任委員)・長野浩典・高陽一

会 計 長田弘通(常任委員)・鳥井裕美子

監 事 加藤泰信・若杉昌昭

三号議案については、事務局の報告・説明を受け、研究会

活動は古代中世史の責任者が一五年ぶりに変わり三重野誠から高陽一氏となること。また、新規事業としてテーマ討論会の開催が提案され、了承された。なお、テーマ討論会は、二〇〇七年一月一〇日(日)に大分県立図書館研修室にて「大分発新しい都市の見方」のテーマのもと、長田弘通氏「大友館の整備と府内町の形成」、豊田寛三氏「近世初期の竹田城下町」、長野浩典氏「都市防空体制の構築と市民総動員」の三人の研究者の報告があった。五二名の参加者の多くから、次年度も継続して欲しいとの要望が出るほど盛況であった。

四号議案は、事務局の報告を受け、承認された。

三、公開講演

大分大学教授・本会会長の豊田寛三氏が「人の命の歴史を考える」のテーマで講演。狭間・津久見・羽出浦などでの膨大な量の過去帳等の分析を通して、近世・近代における、特定の年や月別の死亡者数の特徴とその要因を明らかにされた。過去帳からこれだけの情報が見いだせるのかと大変興味をもつとともに、非常に精力的でかつ説得力のある内容であった。

会告

二〇〇七年度大分県地方史研究会大会・総会のご案内

一、日時

七月八日(日) 一〇・〇〇～一五・三〇

一、会場

大分県立図書館 第二・三研修室

一、会員研究発表(一〇・〇〇～一二・〇〇)

三谷紘平氏(別府大学大学院)

「大分県における時衆の動向」

豊田寛三氏(大分大学)

「近世初期竹田城下町の流通問題」

荒尾裕治氏(大分県公文書館)

「普選期における立候補者の擁立過程

—大分県を事例として—

一、総会(一三・〇〇～一三・三〇)

一、公開講演会

渋谷 忠章氏(前大分県立歴史博物館長)

「大分県における史跡の整備と活用」